

令和3年度聖籠町男女共同参画計画策定委員会
議事録（要旨）

日時：令和3年9月2日（木）

午後1時30分から午後2時45分まで

会場：聖籠町役場大会議室

議題1 令和元年度男女共同参画意識調査アンケートクロス集計報告について

○委員 11 ページ問3の自治会の集会に参加している性別を聞いている部分で「集会」という文言は「集会」をどのように捉えているのか気になる。集落の集会というのは、集落総会、組長会議があるが、どちらの集会か分かりにくい。次回のアンケート案を見ると自治会の行事という表現に変わっているので、この表現の方がわかりやすいと感じた。

「集会」という表現では男女共同参画という視点から見ると違和感があるが、前回アンケート作成時に検討されたのか。

○委員長 この点は前回の委員会にも問題視される意見が出ていたので、令和3年度アンケート案から現在の表現に変更した。

集落の集会という言葉の意味は前回アンケートを作成した際は、自治会の集会について町民に問うべきではないかと意見があって設問を作ったのだが、実際に集会が何を指すのかまではしっかり議論されていなかった。文言に関しては、指摘のとおり良くなかったと感じている。その点を改善したとご理解いただければありがたい。

○委員 4 ページアンケート結果概要の部分で問10の設問で「女性は、結婚・出産後も仕事を続けたいなら、仕事を続けることが望ましいと思いますか」について、「思う」という回答が84%を超えていることについて事務局としてどういう分析をしているか。

また、問2のところで聖籠町の男女共同参画計画を知っていますかという設問だが、「知らない」という数字がかなり大きい。これは前回委員会資料の男女事業の内部評価と非常にかい離しているのではないかと思う。事務局としてどう分析しているのか併せてお聞かせ願いたい。

●事務局 問10の回答結果の事務局分析について、今でこそ女性は仕事を続けることが望ましいという社会全体の風潮だとは思いますが、アンケートの設問作成当初は、まだ男女共同参画の理念が浸透しておらず、男女の古典的な役割分担に関する考え方が払しょくされているか、土壌が整っているかどうかを確認するための効果的な内容だった。

しかし、土壤が整った今となつては委員のおっしゃる通り違和感のある内容となっており、後ほど資料3の方で説明するが、この設問についてはアンケートとして意味がなくなつて来ているという部分があるので、事務局としては削除したいと考えている。

問2の町の施策認知度の設問について、知らないという回答結果が多かったが事務局としても重く受け止めている。

クロス集計にもあるが、高齢の方ほど知っていただいている反面、若い方の認知度はかなり低くなつていたので、今後は若い世代に向けた広報に力を入れていくべきであると考えている。

議題2 令和3年度男女共同参画意識調査アンケート内容検討

○委員 資料3について、前回会議時に集計結果を広報を通して町民の方に周知つもりはあるかというのを確認させてもらったところであるが、その集計結果を周知するというのであればあらかじめそういう部分にも利用させてもらうことを表紙に入れたほうがいいのではないかと思う。

字句の問題ではあるが、8ページ問15の2の選択肢で「経済的な面で」というのは「経済的な面で」ということであると思うので、直していただきたい。

また、私が一番違和感を覚えたのは問15である。

設問意図が、家庭内における男女平等意識の浸透具合を調査するという事で新たに賛成・反対・その理由という仕立てで設けられた設問ということだが、これで果たして浸透具合が見えてくるのか疑問がある。

私個人としては、賛否の割合や理由が明らかになるのみで、そこで終わってしまうのではないかという気がする。現状や実態等が見えてくるようなものであったほうが良いのではないかと思う。

また、回答にあたって問15から問15の1や問15の2に移行するという事だが、問15の1は、私の感覚だと非常に男性目線の選択肢なのではないかと思う。皆さんどういふ風に感じられるかは別として、特に、選択肢6の女性が外に働きに出るのは男性と比べると不利だからというようなことは、こういうことを女性の方が思うのかなと感じたところである。私は女性にもどんどん働いてもらいたい、社会に出てもらいたいと思っている立場だが、こういう風に思っている女性の方が果たしていらっしゃるのかなと感じたところである。男性が女性を慮った設問かもしれないが、今の時代は女性蔑視発言等すると各方面から攻撃される可能性があるのでは、選択肢について検討いただければと思う。

先に申し上げた賛成・反対とその理由という仕立てで、家庭内の浸透具合が分からず賛否の比率が分かるのみで終わってしまうのではないかという部分だが、例えば、問 15 の 2 の選択肢について、「私は思う・思わない」とか「している・していない」とかそういう選択肢にしてもらうことによって現状が浮き彫りに出来るのではないかと感じた。

また、資料 1 で説明があったが、資料 1 の 25 ページの間 10 や 27 ページの間 11 など回答が偏ることが分かりきっておりアンケートとして意味を為さない可能性があるという説明があったが、その設問と似通っているようか気がするのでその部分もどんな風に考えているのか確認できればと思う。

●事務局

結果を広報等で周知にするのであればその旨を表紙に掲載した方が良いのではないかという件について、大変参考になった。前向きに検討させていただく。

8 ページの誤字について、ご指摘のとおり文言を修正する。ご指摘感謝する。

問 15 の設問では、浸透具合がわからず結果の把握だけで終わってしまうのではないかというご意見は確かにその通りだと思う。

しかし、まずは町として町民の考え方を把握した後にクロス集計を行い、結果を広報させていただき、啓発活動の一環としたいと考えているのでご理解願いたい。

問 15 の 1 の聞き方が男性目線ではないかという部分だが、問 15 の 1 に進む方は男女共同参画の考え方をあまりもっていない方や男女平等という意識をもてていない方がこの設問に進むと思われ、そのような方が回答することを前提の選択肢であり、その方の思考に近いものが並んでいる。そして、選択肢のどれが町民に多いのかを把握し、その結果を別な施策に展開したいと考えている。

問 15 の 2 について、先ほどと同じ回答になってしまうが、まずは現状を把握し、その結果を広報して啓発につなげていきたいと考えているのでご理解願いたい。

○委員

問 15 の 2 について、あらためてアンケート結果を分析するということが、資料 1 の問 10 「女性が結婚出産後も仕事を続けるほうが望ましい」という回答に対して 8 割以上の方がそう思うと回答している現状がある。

それと同じような結果がこの問 15 の 2 の選択肢 1 になるような気がしているので今一度見直した方が良いのではないか。

●事務局

今のご意見について、委員長のご意見を伺いたい。再度選択肢を町と協議し、見直した良いか。

○委員長

問 15 の 1 と問 15 の 2 は総務省のアンケートと新潟県のアンケート

の選択肢を参考にしながら作成させていただいた。

男性目線の選択肢という観点は私の方では申し訳ないが、ほぼ無かったので、そういう風にも見えるのかと考え直していたところである。

もし、委員の皆様、特に女性の委員の皆様から同じような指摘が出るようであれば、積極的に選択肢を変えていきたいと思う。

女性の委員の皆様はこの選択肢についてご意見を伺いたい。

○委員 私もこの問 15 に引っかかっており、「男は仕事、女は家庭」という旧態依然とした質問のように感じる。

前回アンケートの問 11 で男性が育児炊事などの家事の役割を主体的に行う抵抗感があるかないかという設問で「ない」という回答の方が大半を占めている。そういう結果があるのに、またここで新しい設問で「男は仕事、女は家庭」と問うこと自体が一体どうなのかというような気持ちが強くある。どういう質問にしたら良いかと言われると分からないが、この新しい質問の仕方では、もう最初から「男は仕事」というようなことを町民に広報しているような気がする。よって、設問の内容を変えていただければと思う。

また、もう一点だが、問 9 で「男性の優遇・女性の優遇」という文言が出てくるが私は集落や PTA の場に出て「優遇」という形で捉えたことがなく、家庭の中の役割分担なのではないかと思うので「優遇されている」や「優遇されていない」などの文言でなく、別の表現で引き出せるものがあつた方が良いのではと思う。結論を申し上げますと「優遇」という文言にすごく違和感がある。

○委員長 問 15 の質問について、これは要するにジェンダー差別に関する質問である。要は男女固定役割分担があるかどうかについての質問なのだが、こういう質問の仕方をするとほとんどの方が分からないと回答するので、「男女役割分担とは何か」、その具体例としては「男は仕事」という考え方をわかりやすく挙げている。この考え方にメスを入れたいという意図が問 15 はある。よって、「男は仕事」にすべきだという意図は全くない。その点はまずご理解していただきたい。

ではここから、「男女平等ですか」と聞く質問ではなく、さらに踏み込んで「男女ジェンダー平等ですか」ということを聞きたい質問なのだが、こういう言葉だとほとんど伝わらないので、「男は仕事という考え方についてどうなの」という風に、まさに旧態依然とした言葉を使わないといけないという背景があるので、こういう設問や選択肢で聞かざるを得ないということをご理解いただきたい。

また、「優遇」という文言だが、これも長い間議論続けてきた文言で、私どもの方でもかなり悩んだ末に「優遇」という文言に落ち着いた。人種差別撤廃条約の言葉なども検討したが、最終的に「優遇」に落ち着いた

てしまったので、委員の皆様から代替の文言があればご提案していただければ非常にありがたい。自治会、PTA、子どもの行事については、設問として聞いてほしいという意見が長らくあるので、やはりこの質問項目は下げられないと思う。

○委員 問9で私自分が答えるとしたらすごく困るなど感じた。自治会、PTA、子どもの行事を一緒にされてしまっているの、質がまったく違うものだなという認識がある。このままでは答えづらいので、答えづらい人にも答えられるように「どちらともいえない」のような選択肢があると答えられるかなと思う。男の人が神輿作るなど何かを設営して、女の人がお疲れ様会の準備を行うなど、特に自治会とか子どもの行事などが男女別の役割があることが多いと思う。

また、そもそもこのアンケートだが、クロス集計の報告書に目標値が令和4年度末となっている。それでもアンケートを取るのは令和3年度中ということか。集計の時間が一年間必要という意味か。

●事務局 次の計画を作るための最後のアンケートが令和3年度である。聖籠町男女共同参画計画内で隔年でアンケートを実施する事業があり、その都合上どうしても区切りが悪くなってしまい、令和3年度に実施するというのが現状である。

○委員 承知した。字句の問題で、8ページの間15の2で「仕事を持つ」という表現がひらがな表記であると思うので、直していただきたい。

また、9ページの間17について、間18、間19では「自身の性のあり方」と書いてあるが、ここだけなぜ「自身が自認している性別」になっているのかと疑問がある。とられるとしたら自分が自認している性別ではなくて社会的に与えられた性別にとられるのではないかなと思う。そこを無くすのであれば、間18、間19と同じ表現の方が良いのではないかと考える。

●事務局 8ページの誤字について、ご指摘のとおり文言を修正する。ご指摘感謝する。

問9について、全体的に新設の質問が増えている都合もあり、自治体、PTA、子どもの行事を一つの設問にさせていただいたという経緯がある。この点について、委員長のご意見を伺いたい。

○委員長 問9の自治体、PTA、子どもの行事が一緒の設問になっていることについて、過去のアンケート結果がほぼ変わっていないという問題点が見えてきているが、やはり削れない項目なので、委員のご指摘もごもっともだが、その折衷案ということで、三つを一つにまとめさせていただいた。むしろ、そのようであれば設問自体を削除するというのも一案だと考える。

問 17、問 18 で、とらわれるとしたら自身が自認している性別ではなくて社会的に与えられている性別なのではないかということだが、委員ご承知かと思うが、LGBT に関するアンケート調査を今回から入れていくという趣旨で入れたものである。問 17 はこれまで、「自身が自認している」という文言を入れていなかったが、今回性的マイノリティに関する設問を入れていくということでこのような修飾文を入れた経緯があるが、これを取ってしまうと性的マイノリティに関する調査とは関係づけられない調査ということになってしまうので、正直悩ましいところである。

この文言は、性的マイノリティの研究者と意見交換して入れさせていただいた経緯があり、今すぐには答えが出ないので、一度その研究者と私の方で議論させていただくために持ち帰らせていただく。

前回の委員会から性的マイノリティという面でメスを入れてほしいという意見が大きくなってきたので今回のアンケートでは性的マイノリティに関連付ける質問項目はどうしても入れたいと考えている。慎重に言葉を選びながら質問項目もう一度検討させていただきたい。

○委員 「性別」といった時にとらえ方が人それぞれ違うと思うので、その人がとらえた性別という風なイメージでとらえるほうがいいと思うのでよろしく願います。

○委員 3 点ある。

1 点目は内容以外だが、アンケートの実施概要のところ「無作為に抽出した 500 名」という部分があるが、500 名という数字は何か根拠があるのか。

2 点目は、アンケート用紙の「ご回答にあたりお読みください」という部分だが、よく我々の会社で色々アンケートをやる時に入れる文言で「設問は全部で何問で、回答時間におおよそ何分要します」といった文言をあらかじめ書いておけば答える側も答えやすいと思うし、アンケートに記入しやすいと思いますので検討していただきたい。

3 点目だが、QR コードでスマホやインターネットで回答できるというような仕立てになっていると思うが、最後のご意見等を自由に書く部分も出来るという理解で良いか？

●事務局 500 名の根拠について、町の財政面の都合で申し訳ないが、前回は町の最上位計画である総合計画アンケートだったので実施数が 2000 部と大きい数字だったが、前々回の男女共同参画アンケートは 500 部であった。よって、財政的な都合で申し訳ないが 500 部という数字にさせていただいた。

表紙の「ご回答にあたりお読みください」の部分のご意見について、大変参考になったので前向きに検討させていただく。

QR コードのインターネット回答について、インターネット回答でも

最後の意見等の部分を入力可能である。

○委員 問9について、自治会、PTA、子どもの行事は内容も違えば質も違うので一緒の設問にするのは違和感がある。回答の選択肢に「優遇」という言葉を使っており、ある意味あいまいな表現なので、むしろこの設問は削除しても良いのではないかと思う。

また、問14は削除する方向ということであるが、これは私も賛成である。

○委員長 この設問について、いままでのご意見を勘案すると私としては削除しても良いのではないかと思う。しかし、根強くここをアンケート項目に残したいというご意見があるのであれば、案としては自治会だけを聞くであるとか、PTAだけを聞くといった形で残してはどうかと考えるが委員の皆様いかがか。特に意見が無ければこの設問は削りたいと考える。

○委員 問9の意図だが、ジェンダー格差があるとの指摘がこれまでなされてきたということがあるので、これを知りたいということであれば全部削除というのはどうなのかと思う。

自治会、PTA、子どもの行事の中でジェンダーに関する格差というのが一番大きいのはPTAなのか子ども行事なのかは分からないが、自治会は夜に行われることが多く、そうすると家事は男女関係ないという話もあるが、家庭の中のことを考えると出やすい人がでるという考え方になってくる。そうなるとジェンダーの深さを探るために残すのは「PTA」ではないかと思う。

○委員 問9はそもそも何を答えていいかわからない。自治会、PTA、子どもの行事を分けて考えればまだ答えやすいが、そもそも役員を決めるときのものなのか、行事をやるときなのか、その他の場合なのかによってまったく事情が異なると思う。選出においては、上位の役割は男性に、その他の役割は女性にという傾向はあると思う。

○委員長 それではPTAを残して、他を削るという方向で問9は変更させていただきたいと思う。

また、「優遇」という文言だが、前回のアンケートでは「男女どちらが参加した方がいいと思いますか」という質問の仕方であったが委員の意見を伺い、一度持ち帰らせていただければと思う。